

歯科健診を受けて、 新型コロナウイルス感染対策を行いましょう!



コロナ禍において感染予防のため歯科医院の受診を控えている方がおりますが、定期的な歯科健診を怠ったり治療を中断したりすると、お口の中の悪玉菌の増殖を招き新型コロナウイルスなどの感染症を重篤化させるリスクがあります。さらに痛みや腫れを放置すると、むし歯や歯周病が悪化するだけでなく菌血症を引き起こし全身の健康へ悪影響を与えます。ご自身の判断で中断せずに、歯科健診を通して健康的な生活をおくりましょう。

政府の骨太方針

2017年度の「経済運営と改革の基本方針(骨太方針)」に「口腔の健康が全身の健康にもつながる」ことが明記されて以降、口腔の健康の重要性を鑑み、オーラルフレイル対策・疾病の重症化予防につながる歯科専門職による口腔健康管理の充実等について示され、2022年度には、新たに「生涯を通じた歯科健診(いわゆる国民皆歯科健診)の具体的な検討」が明記されました。北海道と北海道歯科医師会では、北海道歯科保健医療推進計画に基づき、全ての道民が生涯を通じ切れ目なく歯科健診を受診できるよう、定期歯科健診の普及に努めています。

新型コロナウイルス感染症予防対策

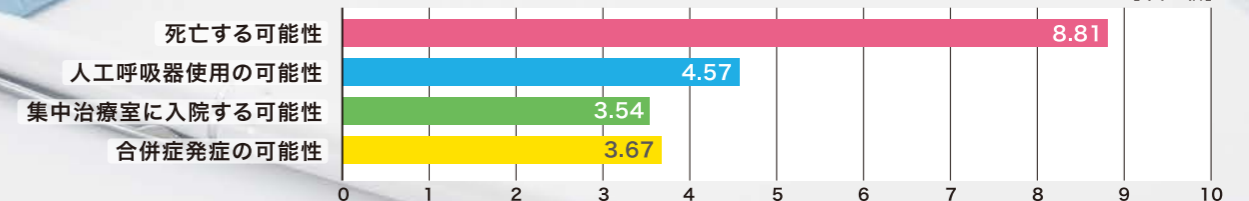
歯科医院ではコロナ禍以前から感染症予防対策を徹底しており、今日まで歯科治療を介しての直接の感染は一例も確認されていません。コロナ禍において定期的な換気、患者さんとの間隔確保、治療予約の調整など、飛沫感染や接触感染が起こらないような対策を日々行なっています。

歯周病と新型コロナウイルス感染症

● 歯周病がある人の重症化の割合

	検査数(人)	重症化(人)	割合(%)
歯周病あり	258	33	12.8
歯周病なし	310	7	2.3

● 歯周病がある人のリスク(歯周病がない人と比べて) [単位:倍]



2021年3月19日参議院予算委員会資料 Maroufら, J Clin Periodontol. 2021;48:483-491を基に山田宏事務所作成

